

鳥取放牧場風力発電所の風車3号機の状況について

令和7年3月11日
企業局工務課

○風車3号機の主軸受の鉄粉濃度の状況

- ・ 2月 3日：月例点検で主軸受の鉄粉濃度測定実施。
主軸受鉄粉濃度：1.610wt%（管理基準値：0.5wt%）
- ・ 2月 5日：鉄粉濃度が上がっていることから、対策を講じるまでは3号機を発電停止する。（遊転させる）
- ・ 2月14日：2月13日から14日にかけて主軸受へのグリス注入を実施。
主軸受鉄粉濃度：0.065wt%
異音発生等の不具合もないことから、14日から試験運転を開始。（強風時は通常風速条件より1段早めに運転を停止させることとし、機械装置へのストレスを軽減させることとする。）
○発電を停止する最大瞬間風速：通常25m/s以上 ⇒ 15m/s以上
○発電を停止する平均風速：通常15m/s以上 ⇒ 10m/s以上
- ・ 2月26日：主軸受の鉄粉濃度測定実施。→ 主軸受鉄粉濃度：0.642wt%
このあと主軸受へのグリス注入を実施し、1時間程度グリスを馴染ませたあと鉄粉濃度測定実施。→ 主軸受鉄粉濃度：0.027wt%
異音発生等の不具合もないことから、26日から試験運転を再開。（強風時は前回同様、1段早めに運転を停止させることとする。）
- ・ 3月 7日：主軸受の鉄粉濃度測定実施。→ 主軸受鉄粉濃度：0.579wt%
このあと主軸受へのグリス注入を実施し、1時間程度グリスを馴染ませたあと鉄粉濃度測定実施。→ 主軸受鉄粉濃度：0.022wt%
異音発生等の不具合もないことから、7日から試験運転を再開。（強風時は前回同様、1段早めに運転を停止させることとする。）

○風車3号機の今後の対応

- ・ グリス注入の頻度を従前は3ヶ月に2回であったところを1ヶ月に2回に増やし、管理を強化しながら試験運転を継続する。